

令和8年度事業計画について

互助組合は、創立以来一貫して静岡県における教育文化の振興発展、組合員の生活の安定と福利の増進を図ることを目的に、常に社会の動きに対応しながら、相互扶助を基盤とした三支援（経済・健康・生きがい）による事業を展開してきました。

令和8年度は、第五次互助組合事業五か年計画策定検討委員会からの「報告書」を受けて4年目を迎え、五か年計画の完結に向けた重要な年になります。報告書の具体化の進捗状況を検証するとともに、引き続き、組合員の皆様の期待に応えられるように工夫を重ね、互助組合としての特色を活かした事業を展開します。

経済支援となる給付事業は、現職組合員については、令和7年度の事業内容を継続し、退職組合員については、給付金等送金に係る振込手数料を年度中途から受取人負担に変更し、給付水準の維持に努めます。貸付事業については、市中金利が上昇傾向にあり、互助組合貸付利率の指標となる特例基準割合も上昇していることから、利率の見直しを図ります。また、貸付財源の確保も考慮し、住宅資金については貸付条件を変更します。なお、引き続き、互助新聞、リーフレット等において広報に努めます。

健康支援となる現職組合員の保健事業は、健康診断助成金事業の助成内容を変更及び予防接種助成の接種期間を通年に拡大し、引き続き、現職組合員が教育活動に専念できるよう健康管理のサポートに努めます。また、健康セミナーを継続し、健康に関する講演や体験を通じて、ヘルス・リテラシーの向上を図ります。退職組合員の保健事業については、人間ドック検診費補助をわかりやすい制度に変更し、広報に努めます。

生きがい支援となる厚生・文化・公益事業等については、ヘルスサポートの事業内容を変更し、広く多くの現職組合員の健康づくりの支援と利便性の向上を図ります。相談事業については、広報に努め、心身ともに健康で安心できる環境づくりをめざします。さらに、各支部にあっては、「生きがい支援」の具現の場となるよう各種講座、研修旅行を実施します。また、趣味の会やボランティア活動を支援し、組合員の生きがいを創出する事業の充実・活性化を図ります。公益事業では、舞台芸術公演として静岡県内で開催される公演等をチケットあつ旋により実施します。また、学校巡回公演スクールコンサートは東・中部地区（17会場）、高校生向け教育講演会は東・中・西部地区（3会場）にて開催し、児童・生徒及び教職員に元気と感動を届けられる事業となるように努めます。広報事業は、互助新聞、ホームページによる効率的かつ効果的な情報発信のほか、「ごじょまっぷ」「事業一覧表」により互助組合の組織及び事業の周知に努め、組合員の身近な存在として活用いただけるよう取り組みます。

退職組合員による学校支援（ごじょ丸学校応援団）は、調査結果に基づく事業の策定を進めてまいります。

今後も、静岡県教育委員会教育厚生課、政令指定都市教育委員会及び公立学校共済組合静岡支部等との連携を深めるとともに、「プラスワンでいこう」を合言葉に、組合員の皆様が伝え合い、誘い合いながら互助組合事業に参加することを通じて、健やかで充実した生活を設計できるよう支援していきます。

1 基本方針

- (1) 一般財団法人として、「内部統制基本方針」に従い業務の適正を確保し、健全経営、健全財政の維持を図る。
- (2) 第五次互助組合事業五か年計画策定検討委員会「報告書」の具体化を図る。
- (3) 互助組合事業の周知に努める。
- (4) 中・長期的展望のもとに計画を立て、変化に対応できる体制とする。

2 掛金及び会費

- (1) 現職組合員（一般組合員）
給料月額15/1,000の掛金・会費を徴収する。
- (2) 現職組合員（短期組合員）
給料月額6/1,000の短期掛金を徴収する。
- (3) 退職組合員
退職互助部継続加入会費は、年齢別（退職日の属する年度末時点）に定める会費を徴収する。

3 事業別計画

- (1) 給付事業(現職)
令和7年度と同様に実施する。
- (2) 貸付事業(現職)
 - ア 貸付利率を市中金利や特例基準割合等を考慮し見直す。なお、変更時期は令和9年1月とする。
 - イ 住宅資金の貸付限度額を1,000万円とする。(令和8年10月貸付から)
 - ウ 互助新聞、リーフレット、チラシ等で貸付種別ごとの特色や利用方法について広報に努める。
- (3) 保健事業(現職)
 - ア 健康診断助成金事業は、助成対象となる検診（検査）項目と対象年齢、助成内容を見直し、組合員の健康意識が高まるよう、受診の必要性等について引き続き情報発信に努める。
 - イ 予防接種助成は、令和7年度と同様に実施し、接種期間は通年に変更する。
 - ウ 脳ドック助成（公立学校共済組合員以外の現職組合員を対象に実施）は、対象年齢を41、46、51、56、61歳に変更する。ただし、令和8年度に限り、経過措置として55歳、59歳も対象とする。
 - エ 健康セミナー（現・退職）は、令和7年度と同様に実施する。
- (4) 厚生事業（現・退職）
 - ア 日常生活用具貸出事業(現職)は、令和7年度と同様に実施する。
 - イ チケットあつ旋は、以下のとおり実施する。
 - (ア) 幹旋対象公演の充実と広報に努める。
 - (イ) 東京ディズニーリゾート・コーポレートプログラムを利用し、東京ディズニーリゾートのパークチケット購入に使用できる利用券（1枚1,000円）を年度内1回2枚まで幹旋する。
 - (ウ) 「互助割（施設等割引制度）」「ごじょ丸チケットサービス」「ローチケbiz+」の広報に努める。

- ウ ヘルスサポート(現職)は、以下のとおり実施する。
 - (ア) 4月1日現在互助組合員で、年度内に対象年齢に達する者に、健康支援に係る物資購入券(3,000円相当)を贈呈する。
 - (イ) 対象年齢の59歳を60歳に変更し、定年年齢(令和8年度は62歳)を追加する。ただし、60歳は令和7年度に実施のため対象外とする。
- エ 国内研修旅行は休止とする。
- (5) 文化事業
 - ア 正倉院展を観る会は、以下のとおり実施する。
 - (ア) 奈良国立博物館で開催される「正倉院展」を鑑賞するため、現地集合・解散により実施する。
 - (イ) 奈良芸術短期大学特任教授 前園実知雄氏を講師に招き、夜間講座及びオプションコースを計画する。
 - イ 鑑賞・観戦事業は、歌舞伎鑑賞、ミュージカル鑑賞、スポーツ観戦等を県・支部事務局の連携により実施する。
 - ウ フィールドワークは、休止とする。
- (6) 相談事業(現・退職)
 - 広報に努め、必要とする組合員の利用促進につなげる。
- (7) 支部事業(現職)
 - ア 支部事業の活性化を図るため、講師招へい等に係る講師リストを充実させ、支部事務局への情報提供に努める。
 - イ 新組合員教室及び互助組合担当者会を開催し、互助組合事業の周知を図る。
 - ウ 事務連絡会は、新規採用事務職員及び希望者を対象に東・中・西部地区にて開催する。
 - エ スケールメリットと利便性を活かし、組合員同士の親睦交流が深まる事業を推進する。
- (8) 生活設計事業(現職)
 - ア ライフプラン講習会を通じて、生涯生活設計における互助組合の役割と必要性を周知する。令和8年度については、オンラインの形式で実施する。
 - イ 退職互助部継続加入拡大に向けて広報に努める。
- (9) 永年勤続者慰労事業(現職)
 - 令和7年度と同様に対象者に物資購入券(10,000円相当)を贈呈する。
- (10) 公益事業(現・退職)
 - ア 舞台芸術公演は、劇団四季静岡公演、松竹大歌舞伎、ディズニー・オン・クラシック静岡・浜松公演等をチケットあつ旋により実施する。
 - イ 学校巡回公演スクールコンサートは、東京アーティスツ合奏団によるクラシックコンサートを5月に東部地区8会場、10月に中部地区9会場で実施する。また、保護者、一般(地域住民)参加者への広報に努める。
 - ウ 教育講演会は、高校生を対象としたゴルゴ松本氏による「命の授業」を東・中・西部の3地区にて実施する。
 - エ 静岡県教育委員会が実施する「しずおか探究留学支援事業(旧 ふじのくにグローバル人材育成事業)」を支援する。
- (11) 退職互助部事業
 - ア 療養費給付は、以下のとおり実施する。
 - (ア) 令和7年度の算定方法を継続する。

(イ) 請求時における添付書類として、マイナポータルより出力できる「医療費通知情報」を追加し、請求手続きの簡便化且つ迅速化を図る。

イ 支部事業は、以下のとおり実施する。

(ア) 退職互助部説明会

a 対面又は電話等による個別相談を、県事務局及び支部事務局にて実施する。

b オンライン説明会（動画配信）を実施する。

(イ) 退職互助部継続加入者を対象とした退職互助部事業説明会を、全支部で実施する。

(ウ) 趣味の会は、令和7年度に引き続き、現職・退職問わず、生涯にわたる趣味の活動を支援する。

ウ 保健事業（人間ドック検診費補助）は、わかりやすい制度とするため、令和8年10月受検分より補助対象となる検査を「人間ドック」のみとし、令和7年度と同様に全年齢を対象として、5,000円を限度に補助する。

エ 長寿祝品事業は、令和7年度と同様に77歳（喜寿）を対象として実施する。

オ ボランティア活動支援事業を推進する。

カ 文化事業として、静岡大学名誉教授 小和田哲男氏によるフィールドワークを企画する。

キ 給付金等送金に係る振込手数料を、令和8年10月送金分より受取人負担とする。

ク 療養費及び人間ドック検診費補助における電子申請の推進を図る。

(12) 特別積立金事業

おしぼ会館の有効利用を図り、健全経営に努める。

(13) 広報事業

ア 互助新聞は、隔月発行（年6回）を継続する。

イ 「互助新聞」及びホームページを活用し、互助組合事業の周知を図る。

ウ 「ごじょまっぷ」及び「事業一覧表」を現職組合員全員に配布する。

エ 組合員へ情報を効果的に届けるための情報発信方法について研究を進める。

4 その他

(1) 組合員の加入資格について周知に努める。

(2) 退職組合員による学校支援（ごじょ丸学校応援団）は、調査結果に基づく事業の策定を進める。

(3) 振込手数料等の支出の抑制に努める。

(4) 組合員の利便性の向上を図るため、DX環境の整備を推進する。

(5) 組合員へ互助組合の理解と事業推進を世代別に推進するため、校長会、教職員組合、事務職員会、県立学校及び私立学校等の組織を通じて、周知の体制整備に努める。

令和8年度 保健／福祉文化／公益／退職互助部（福祉）事業計画（案）

1 保健・厚生・文化事業

事業名	概要	時期	予定人員	
保健事業	健康診断金 助成	地方自治体が実施する検診等を受診した際の費用について助成 《組合員検査項目》 大腸がん検査、歯周病、肝炎検査、前立腺がん、子宮頸がん、乳がん、骨粗しょう症検査については助成項目一律1,000円を限度に助成（1,000円以下は実費） PET、PCR検査、がんスクリーニング検査は実費 ※助成額の合計は7,000円を限度 《39歳以下被扶養配偶者検査項目》 特定健康診査で定める検査項目及び地方自治体が実施する子宮頸がん検診について、5,000円を限度に助成 ※子宮頸がんは1,000円を限度に助成（1,000円以下は実費）	4月～3月	1,000人 40人
	脳ドック 助成	4月1日現在、41、46、51、56、61歳の組合員が、脳ドックを受診した際の費用について、15,000円を限度に助成 ※令和8年度に限り、55歳、59歳も対象とする ※公立学校共済組合員を除く	4月～1月	40人
	予防接種助成	予防接種を受けた日に現職組合員である者を対象とし、当年度につき1回、予防接種ごと2,000円を限度に費用を助成 《対象予防接種》 インフルエンザ、麻しん、風しん、おたふくかぜ、帯状疱疹、新型コロナ	4月～3月	6,700人
	健康セミナー	健康をテーマとしたセミナーを開催	未定	200人
厚生事業	研修旅行	旅行社企画（互助組合独自の内容）の研修旅行	休止	—
	日常生活用具貸出事業	《单身赴任者貸出品》 扇風機、電子レンジ、ガステーブル、テレビ、冷蔵庫、全自動洗濯機、空気清浄機 《へき地校赴任者貸出品》 上記貸出品及び衣類乾燥機	4月	120人
	チケットあつ旋事業	《東京ディズニーリゾート・コーポレートプログラム》 パークチケット1枚につき1枚（1,000円） 使用できる利用券を、組合員1人につき年度内に1回2枚まで斡旋 《ごじょ丸チケットサービス》 チケットぴあ又はローチケ biz+等で販売されるコンサート、スポーツ観戦、各種観劇券の斡旋	募集5月 随時	1,000人 1,200人
	互助割引（施設等組合員証割引）	《組合員証提示による割引》 スケールメリットを生かし、民間のレジャー施設、宿泊、カルチャースクール、結婚情報サービス会社、医療機関、スキー場等利用割引 《三井住友、みずほ信託銀行の各業務》 遺言信託業務を利用した時、相続、遺産整理に関する諸手続きの手数料割引 《三井住友トラスト不動産・みずほ不動産の業務》 土地、マンション等の契約成立時の手数料割引	随時	希望者
	ヘルスサポート	4月1日現在互助組合員で、年度内に対象年齢に達する者（30、35、40、45、55、60、62歳）1人1年度につき1回3,000円相当の健康支援に係る物資購入券を配布	7月	4,174人

事業名		概要	時期	予定人員
文化 事業	正倉院展	奈良国立博物館「正倉院展」を鑑賞 (夜間講座、オプションコースを実施) 講師：奈良芸術短期大学特任教授 前園実知雄氏	11月	60人
	フィールド ワーク	休止	休止	/
	鑑賞・観戦事業	劇団四季「バック・トゥ・ザ・フューチャー」鑑賞他	未定	未定
相談 事業	相談 センター	組合員とその家族を対象とし、一般相談について随時電話（フリーダイヤル）とメールで相談に応ずる。 その他、法律、税務、メンタルヘルス、FPによるライフプラン全般等、専門委員による無料相談も実施（秘密厳守・相談料無料）	随時	希望者
	相続関係 業務相談	・窓口 三井住友信託銀行静岡中央支店 みずほ信託銀行浜松支店 株式会社イワサキ経営	随時	希望者
支部事業		文化講座、各種講習会、フィールドワーク、健康講座等、支部単位（他支部との合同）で実施	随時	5,000人
生活設計事業		ライフプラン講習会 (年代層別に分けオンラインにより実施)	未定	該当者
永年勤続者 慰労事業		年度内に満50歳に達する在会10年以上の現職組合員に、1万円相当の「物資購入券」を配布	6月	520人
広報事業		・「互助新聞」「ごじよまっぷ」の発行等 ・HPの活用	隔月1回 (互助新聞)	全組合員

2 公益事業

事業名	概要	時期	予定人員
舞台芸術公演	チケット斡旋により実施 ・劇団四季静岡公演 ・松竹大歌舞伎 ・ディズニー・オン・クラシック(静岡・浜松公演)	未定	700人
学校巡回公演	各地区の小・中・特別支援学校にて「東京アーティスツ合奏団によるクラシックコンサート」を開催 ・東部地区 8会場 ・中部地区 9会場	5月 10月	2,500人 2,420人
教育講演会	・各地区単位で実施 ・高校生向け講演会 「ゴルゴ松本 命の授業」	年間 高等学校 3校	/
小中学生国際交流体験団	休止	/	/
人材育成支援事業	しずおか探究留学支援事業への支援	/	/

3 退職互助部(福祉)事業

事業名	概要	時期	予定人員
支部事業	文化講座、各種講習会、フィールドワーク、健康講座等、支部単位で実施	随時	6,000人
保健事業	人間ドックを受診した際の費用について、5,000円を限度に補助	随時	3,000人
広報事業	・「互助新聞」「ごじょまっぷ」の発行等 ・HPの活用	隔月1回 (互助新聞)	全組合員
長寿祝品事業	77歳(喜寿)を対象に祝品を贈呈	9月	1,042人
ボランティア活動支援事業	現職及び退職組合員が安心してボランティア活動に参加できるよう傷害保険に加入する	随時	希望者
文化事業	・歴史散策等のフィールドワーク 講師：静岡大学名誉教授 小和田哲男氏	未定	未定